

2024年7月26日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【機械】 他社牽制力ランキング 2023

トップ3は三菱重工、ダイキン、豊田自動織機

弊社はこのほど「機械業界」の特許を対象に、2023年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「機械業界 他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023年に最も引用された企業は、1位 **三菱重工業**、2位 **ダイキン工業**、3位 **豊田自動織機**となりました。

【機械業界 他社牽制力ランキング 2023 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	三菱重工業	1,492
2位	ダイキン工業	1,164
3位	豊田自動織機	847
4位	I H I	692
5位	クボタ	680
6位	日本精工	667
7位	N T N	610
8位	日立建機	556
9位	ヤンマーパワーテクノロジー	504
10位	コマツ	474

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023年12月までに公開された全特許のうち、2023年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **三菱重工業**の最も引用された特許は「車両部品の摩耗検査装置」に関する技術で、ブリヂストンやTOYOTA TIREなど計5件の審査過程で引用されています。このほかには「タイヤの摩耗寿命推定システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ブリヂストンやTOYOTA TIREなど計4件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、三菱重工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機(47件)、次いで東芝(38件)となっています。

2位 **ダイキン工業**の最も引用された特許は「冷却能力を広範囲にわたって調整可能な冷凍装置」に関する技術で、AIR LIQUIDE(仏)と日本エア・リキードが共同出願である計4件の審査過程で引用されています。このほか「空調制御装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、東芝や富士通ゼネラルなど計3件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、ダイキン工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機(183件)、次いで富士通ゼネラル(70件)です。

3位 **豊田自動織機**の最も引用された特許は「冷却効果を高められる回転電機」に関する技術で、ニデックの計5件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023年に、豊田自動織機の特許により影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車(39件)、次いでパナソニック(29件)となっています。

4位 **IHI**は「ピッキング設備及び物流設備」、5位 **クボタ**は「運転者が変速操作可能な緊急調整機能を持つ農機用の自動走行作業車」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【機械業界 他社牽制力ランキング 2023 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データ一式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円(税抜)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp